

令和6年12月4日  
農林水産部

報道機関各位

令和6年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞受賞者の決定  
及び表彰式の開催について

このことについて、下記のとおり受賞者を決定し、表彰式を開催しますので、取材くださるようお願いいたします。

なお、各賞の概要及び各受賞者の概要等については、別添のとおりです。

記

1 本年度の受賞者

(1) 大高根農場記念山形県農業賞（4名、1団体）

大築 義雅 氏 (山形市)  
金平 芳己 氏 (天童市)  
五十嵐 直太郎 氏 (酒田市)  
庄内産直ネットワーク (鶴岡市)  
川又 義弘 氏 (真室川町)

(2) 川村造林記念山形県林業賞（1名）

長南 伸一 氏 (庄内町)

(3) 山形県水産業賞（1名）

石塚 亮 氏 (鶴岡市)

2 表彰式

日時 令和6年12月13日(金) 午後2時15分から  
場所 ホテルメトロポリタン山形 「朝日」  
(山形市香澄町一丁目1番1号)

【問い合わせ先】

農林水産部農政企画課  
総務専門員 佐野 (TEL: 023-630-2420)

[報道監]

農林水産部次長 高橋

## 山形県農業賞・林業賞・水産業賞について

おたかね

### 大高根農場記念山形県農業賞

山形県自治講習所に大正9年に設置された「大高根農場」周辺農地が、昭和34年に自衛隊用地として国に譲渡された土地代金の一部を基金とし、本県農業の振興発展に寄与した者を表彰したのが始まり。昭和55年からは、県の表彰規則に基づく県知事表彰として表彰している。

本県農業の振興発展に尽した功績が顕著で、かつ、他の模範とされる農業者、農業団体等を表彰し、もって本県農業の振興発展に寄与することを目的とする。

(昭和34年以降、令和5年までの受賞者は、194個人、24団体)

かわむらぞうりん

### 川村造林記念山形県林業賞

本県の第23代知事川村貞四郎氏から県に寄贈された山林を基金として、本県の民有林林業の振興発展に貢献した個人、又は団体を表彰するため、昭和39年に創設された。

本県の林業・木材産業及び山村の振興において、積極的かつ計画的な活動等により、他の模範となる功績のあった個人又は団体を表彰し、もって本県民有林林業の振興に寄与することを目的とする。

(昭和40年以降、令和5年までの受賞者は、67個人、49団体)

### 山形県水産業賞

長年にわたり水産業に精励し、経営改善や水産物の付加価値向上、技術開発等に功績があった個人や団体、水産業関係団体の指導的立場にあり、他の水産業者の模範となる功績があった個人や団体を表彰するものとして、昭和54年に創設された。

本県水産業の発展について顕著な功績のあった個人や団体を表彰し、もって本県水産業の振興に寄与することを目的とする。

(昭和54年以降、令和5年までの受賞者は、47個人、9団体)

## 令和6年度 受賞者の概要（敬称略）

※年齢は、表彰式（令和6年12月13日）時点の年齢

### 大高根農場記念山形県農業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	おおつき よしまさ 大築 義雅	72	山形市	<p>昭和46年～現在 農業（花き等）に従事 平成20年～平成26年 山形県花き生産連絡協議会会長 令和2年～令和5年 山形市農業委員会会長 令和4年～現在 最上川中流土地改良区理事長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の花き栽培の先駆者として技術の導入や改良、地域への普及を行った。特に平成2年の「国際花と緑の博覧会」に新技術による「6月出しトルコぎきょう」を出品して金賞を受賞したり、平成4年の「べにばな国体」に合わせて10月にベニバナを開花させるプロジェクトに参加して飾花に成功するなど、本県花き生産の技術発展及び評価向上に貢献した。</li> <li>・ 山形県花き生産連絡協議会会長として、県内花き生産者の地位向上や生産振興に取り組むとともに、県知事定例記者会見において県産花きを飾花する取組みを始めるなど、県民に対する花きの消費拡大や花き生産への理解促進に尽力した。</li> <li>・ 山形市農業委員会会長として、後進の農業委員に対する指導を積極的に行ったほか、新規就農者の定着に係る検討や農地利用の最適化等に関する調査研究を目的とする小委員会を立ち上げ、相互に情報共有できるようにするなど、委員の資質向上に大きく貢献し、新規就農者の参入にも寄与した。</li> </ul>

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
2	かねひら よしみ 金平 芳己	77	天童市	<p>昭和 41 年～現在 農業（野菜等）に従事 平成 15 年～令和 6 年 天童市農業協同組合理事 平成 27 年～令和 6 年 天童市農業協同組合代表理事組合長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天童市農協の理事・組合長として、子会社である(株)ジェイエイトンドウフーズの新社屋兼精米工場を新設し、農産物や加工品の安定的な生産・販売を推進するとともに、直売施設の売場面積の拡張と品揃えの充実に取り組み、長年にわたり地域農業の振興と発展、活性化に貢献した。</li> <li>・今後の気候変動を見据えてさくらんぼ新品種「やまがた紅王」の産地化を目指し、生産者・行政・JA が連携して生産・流通・販売・PR に取り組む「天童市紅王研究会」を立ち上げ、「やまがた紅王」の生産振興及びブランド力強化に貢献した。</li> </ul>
3	いがらし なおたろう 五十嵐 直太郎	74	酒田市	<p>昭和 50 年～現在 農業（水稻等）に従事 平成 23 年～令和 5 年 酒田市農業委員会会長 平成 30 年～令和 6 年 (一社) 山形県農業会議会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山形県農業会議会長として、県内の農業委員会をリードして農地利用の最適化の推進に全力で取り組み、山形県の農地集積率を 70% 超まで引き上げるなど、担い手への農地利用の集積・集約化に大きく貢献した。</li> <li>・酒田市農業委員会会長として、農地中間管理事業に対応して他の農業団体との連携の下「酒田市農地集積センター」を設立し、農地のマッチングを進めたほか、農業委員等による農地利用状況調査員を設置し、農地パトロールや農地利用意識調査の実施を通し、遊休農地の発生防止・解消に尽力した。</li> </ul>

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
4	しょうないさんちよく 庄内産直ネットワ ーク	—	鶴岡市	<p>平成 15 年 3 月、農事組合法人庄内協同ファームと J A 庄内たがわにより設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有機栽培技術の試行や実証を積極的に行うとともに、「庄内環境創造型農業推進会議」を運営（平成 17 年～平成 21 年）し、地域の環境保全型の牽引役を担うなど、本県の有機農業の普及・発展に貢献した。また、有機栽培の「つや姫」を生産・販売し、県産米ブランド力の向上にも貢献した。</li> <li>首都圏の生活協同組合と結びついた産直事業を確立し、有機米の生産拡大や団地化の取組みを進めるなど、全国的に見てもモデルとなるような有機米産地を形成した。</li> <li>消費者が産地を訪問する産地交流会等を実施し、「顔の見える産地」としての責任の醸成、消費者の産地への信頼と有機農業への理解を深め、地域の活性化・賑わいの創出にも寄与した。</li> </ul>
5	かわまた よしひろ 川又 義弘	72	真室川町	<p>昭和 42 年～現在 農業（野菜等）に従事</p> <p>平成 28 年～現在 （農）川又農園代表理事</p> <p>平成 27 年～平成 28 年 山形県指導農業士会副会長</p> <p>平成 27 年～平成 28 年 最上地域農業士会会長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニラ栽培において、農薬を減らした減農薬栽培に着目し、雑草を抑制しながら土壌改良効果と増収効果のある「堆肥マルチ」をいち早く導入するとともに、地域に波及させてニラの産地化に貢献した。地域の転作田に高収益作物を作付けする大規模経営は、本県の農業においても先駆的な経営体として模範となっているほか、地域の雇用を創出し、地域経済に大きく貢献している。</li> <li>最上地域農業士会会長及び県の指導農業士会副会長を務めるなど、農業後継者の指導・育成に意欲的に取り組み、研修生の受入れのほか、新規就農者の就農支援や就農後の経営改善指導を行い、地域の担い手育成に大きく貢献している。</li> </ul>

## 川村造林記念山形県林業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	ちようなん しんいち 長南 伸一	75	庄内町	<p>平成 9 年～現在            県木材産業協同組合酒田飽海支部事務局長</p> <p>平成 22 年～現在            山形県協同組合やまがたの木乾燥センター事務局長</p> <p>平成 9 年～平成 27 年            林業・木材製造業労働災害防止協会山形県支部飽海分会 事務局長</p> <p>平成 14 年～令和 2 年            労働安全衛生指導員</p> <p>平成 15 年～現在            酒田植物検疫協会事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内産スギ材の高品質な人工乾燥材を安定的に供給していくことを目的に発足した「協同組合やまがたの木乾燥センター」の設立に際して、地域内の木材・製材事業者、森林組合、林業事業体に対して積極的に組合への参画を働きかけ、その後、施設の本格稼働後には高品質な製材品の需給円滑化に取り組むとともに、氏が培ってきた信用と人脈を活かし、県内のみならず県外からの受注も開始するなど、施設の稼働率向上と協同組合経営の安定化に尽力している。</li> <li>・県内で初めて取り組んだ木材乾燥施設の共同利用や人工乾燥材の流通拡大は県内各地に普及し、木材乾燥施設を導入する製材工場が増加するなど、県内木材産業の振興と発展に大いに貢献した。</li> </ul>

山形県水産業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	いしづか りょう 石塚 亮	72	鶴岡市	<p>昭和 51 年～現在 家業の旅館業に従事 平成 4 年～平成 11 年 鶴岡市教育委員会委員 平成 22 年～令和 3 年 庄内浜文化伝道師協会会長 令和 3 年～現在 庄内浜文化伝道師協会顧問</p> <p>・庄内浜の文化と共に伝わってきた魚料理の研究と調理技術の向上に意欲的に取り組み、自身の経営する旅館の宿泊客へ庄内浜の水産物を使用した料理の提供を続けてきたほか、地魚の美味しさや食文化を伝えられる人材を確保し魚食普及及び需要拡大を図ることを目的に県が創設した「庄内浜文化伝道師認定事業」における、浜の食文化に関する講師を務める（H19～H29）とともに、伝道師の知識と調理技術を高めるための指導役である伝道師マイスター（現在、伝道師 268 名のうち 13 名のみ認定）として多くの伝道師のレベルアップを図り浜文化の伝承に貢献した。</p> <p>・平成 26 年には、公益社団法人 国産水産物流通促進センターが主催する Fish-1 グランプリ（第 1 回大会）にて「鱈のどんがら汁」で最優秀賞のグランプリを獲得。同年、農林水産省主催のフード・アクション・ニッポンアワードの販売促進・消費促進部門に入賞し、国内に広く県産水産物の魅力を PR した。</p>